

の整備を始め、
県下で一番安い
保育料の継続と
出産祝い金の拡
充やこども医療
費の中学校卒業
までの無料化、
さらに早朝及び
延長保育・0歳
児保育・一時保



育などの保育サービスや子育て支援センター・学童保育の充実など、子育てにやさしいまちづくりを進めてまいりました。また、平成16年の豪雨災害以降一部開通となっていた大杉谷登山道が平成26年4月に全線開通し多くの登山者が訪れるようになりました。さらに平成28年3月には町全域が大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークとして拡張登録される予定で、国内外から観光客が訪れることにも期待しているところであります。

で予定していた総勢500人余りの皆さんで踊っていただくイベントは中止となりましたが、雨の中、踊り手の皆さん約100人で踊っていたいただいたシーンは今でも鮮明に覚えており、練習から当日まで踊りを通して大台町民が一つになれたと本当に感動をいたしました。今後は、新たな伝統として後世に伝承していくとともに一体感の醸成と郷土愛を育むことにもつなげていきたいと考えています。「おおきん大台」の歌詞の最後に「それ揃うて 踊ろやな それ踊れば 日が昇る」のフレーズがありますが、今後も町民の皆さんと行政が揃って総力を挙げて、町が将来にわたって輝き続けるよう取り組んでいく所存です。大台町は、この10年間一歩一歩確実にまちづくりを進めてまいりました。記念すべき節目であるとともに新たな一歩を踏み出す年でもあります。これまでの10年間の歩みをしっかりと踏まえつつ、「住んで良かった、ずっと住み続けたいと、だれもが想えるまち」の実現のため全力で取り組んで参りたいと考えております。最後になりましたが、大台町のさらなる発展のため、町民の皆様はじめ関係各位のさらなるご支援ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

地方創生に向けて

大台町議会議長 中西康雄



大台町は、平成18年1月、旧宮川村と旧大台町が合併して、本年は記念すべき10周年を迎えられること、皆様とともにお慶び申し上げます。

今日まで大台町発展のため色々とご尽力いただきました先人の皆様方、住民の皆様方に深く敬意と感謝を申し上げます。

大台町は、尾上町長を中心に町民の皆様方の参画と協働のもと、積極的なまちづくりを推進し、私たち議会も、これらに関連する議案や予算の審議を行なうことにより、まちづくりに参画できたことを誇りに思っております。

新町としての速やかな一体化を促進するとともに、両町村の有する豊かな地域資源を活かした生活に密着する基盤整備の充実をはじめ、暮らしを明日につながるまちづくりに向けた諸課題の解決のため、毎年1000件を超える議案の審議のほか、常任委員会の調査・研究活動、また、必要に応じて県水力発電事業の民間譲

渡による影響調査特別委員会、地域医療対策特別委員会、また、議会改革特別委員会などを設置し、町の重要課題の審議や議会改革の検討を行なってまいりました。

平成の大合併により、地方自治体の規模は大きくなりましたが、人口減少と高齢化は依然として進んでおり、国はそれらの解決策として、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置して、過疎化や少子高齢化、加えて地場産業等の発展の取り組みをはじめました。

議会としましても、町が策定しました「大台町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各施策について、継続的に検討を加え、予算や決算の際には、しっかりとした判定と評価をしてまいります。

また、今までに議会基本条例、議会議員政治倫理条例等を制定し、開かれた議会を目指して議会改革に取り組んでまいりましたが、更なる地方分権時代に対応するべく研さんにとめてまいります。

結びになりますが、これまで温かいご理解とご協力を賜りました町民の皆様、関係各位に深甚なる感謝の意を表し、大台町の一層の発展と皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。